



2022年10月14日

株式会社 阿波銀行

シバタセスコ株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、シバタセスコ株式会社（代表取締役 柴田 哲男、本社：大阪府大阪市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取り組んでいます。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	シバタセスコ株式会社
所在地	大阪府大阪市東住吉区湯里四丁目 12 番 5 号
代表者	柴田 哲男
業種	パルプ紙加工製造販売業
設立	1958 年 3 月 1 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年10月14日



シバタセスコ株式会社 代表取締役 柴田 哲男

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取り組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、長時間労働、サービス残業に関して、社員全員の共通課題と認識します。発生防止にむけて様々な取組みを行い、PDCAを回しながら適切な労働時間管理を推進します。	① (1)働き方に関する社内委員会の設置 (2)超過労働時間の削減		
			② (1)2024年度までに社内委員会設置 (2)超過労働時間15%削減(2021年度比)		
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	① (1)廃棄製品を回収し、原材料として再利用 (2)自社の製品・サービスで、天然素材やフェアトレードな材料を利用		
			② (1)2025年度までに5種類の製品で実現		
社会	情報漏えいの防止	各種機密情報の保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏えい防止に努めます。	① (1)情報セキュリティの第三者認証取得(プライバシーマーク、ISO27001など) (2)情報漏えいに関する研修の実施		
			② (1)情報セキュリティ事故、インシデント年間発生件数0件 (2)年2回研修を実施		
経済	経営理念・目標の発信、浸透	経営層が自社の事業方針について社員一人ひとりに浸透するよう、主体的に努めます。	① (1)経営層による企業・経営理念に関する研修の実施 (2)経営理念に基づく個人目標の設定		
			② (1)2024年度までに実施 (2)2025年度までに実施		



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。